

出雲大社

出雲大社とは 祭典・行事 平成の大遷宮 境内のご案内 お知らせ 交通アクセス

—— 神楽殿 ——



神楽殿は本来、千家國造家（出雲大社宮司家）の大広間として使用されており、「風調館（ふうちょうかん）」と呼ばれていました。

明治に入り、出雲大社教が設立されてからは出雲大社教の神殿としても使用され、現在では國造家大広間、並びに出雲大社・出雲大社教の神楽殿として御祈禱や結婚式をはじめ様々な祭事行事が執り行われています。

昭和５６年に、出雲大社教が特立１００年を迎えた折、現在の神楽殿として規模を拡張して建て替えられました。その大広間は２７０畳の広さを誇り、神社建築にはめずらしく正面破風の装飾にステンドグラスが使われています。

正面の大注連縄は長さ約13メートル、重さ5.2トンに及びます。この大注連縄は数年に一度、新しい注連縄へと懸け替えられます。

そして、神楽殿前庭には高さ47メートルの国旗掲揚塔が聳え立ち、揚げられる国旗は75畳（タテ8.7メートル・ヨコ13.6メートル）の大きさです。

また、神楽殿後方には出雲大社宮司家の祖先神や天満宮などをお祀りした鎮守社が並び、国旗掲揚塔の南には祓社、金刀比羅宮が並んでお鎮まりです。

-
- ▶ [交通アクセス](#)
 - ▶ [プライバシーポリシー](#)
 - ▶ [リンク集](#)
 - ▶ [よくあるご質問](#)
 - ▶ [お問い合わせ](#)

出雲大社

出雲大社社務所
〒699-0701
島根県出雲市大社町杵築東195

TEL : 0853-53-3100
FAX : 0853-53-2515
お問合せ : 午前8時30分～午後5時